

平成24年度第7回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：平成24年10月15日（月）10時00分～11時40分

場 所：熊本県立大学大会議室

出席：学長	古賀 実
副学長	半藤 英明
文学部長	山田 俊
環境共生学部長	堤 裕昭
総合管理学部長	松尾 隆
地域連携センター長	松添 直隆
学術情報メディアセンター長	三浦 章
環境共生学研究科長	北原 昭男
熊本日日新聞社新聞博物館長	平野 有益
昭和女子大学大学院特任教授	渡辺 満利子
アドバイザー：文学研究科長	村里 好俊
アドミニストレーション研究科長	明石 照久
欠席：事務局長	益田 和弘
熊本県公立高等学校長会会長	森塚 利徳

事務局：田代事務局次長、元島教務入試課長、安達学生支援課長、福永総務課長、阪本企画調整室長、田中学術情報メディアセンター事務長、前田地域連携センター事務長、教務入試課阿蘇品班長、同課西本班長

1 開会（進行：田代次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：古賀学長）

（1）審議事項

① 平成25年度入学者選抜における合格者の決定について

1）環境共生学部居住環境学科 自己推薦型入試

事務局教務入試課から、資料1-1に基づき、「環境共生学部居住環境学科自己推薦型入試については、10月6日に試験を実施した。募集人員は4名。配点はプレゼンテーション及び質疑応答を含む面接100点。志願者は11名で県内6名、県外5名、男性8名、女性3名。志願者全員が受験した。」との説明があり、続けて、堤環境共生学部長から、資料1-2に基づき、「上位4名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

2）大学院文学研究科（秋季募集）入試

事務局教務入試課から、資料2-1に基づき、「文学研究科（博士前期課程）秋季募集入試については、日本語日本文学専攻、英語英米文学専攻ともに、9月29日に実施した。日本語日本文学専攻について、募集人員は、秋季募集3名。志願者3名、受験者3名。志願者の内訳は、2名が一般選抜、1名が社会人特別選抜。英語英米文学専攻について、募集人員は、秋季募集3名。志願者1名、受験者1名。志願者は、一般選抜。」との説明があり、続けて村里文学研究科長から、資料2-2に基づき、「日本語日本文学専攻の一般選抜及び特別選抜は、受験生3名が総得点の6割以上であり、全員を合格としたい。英語英米文学専攻の一般選抜は、受験生1名が総得点の6割以上であり、合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

3) 大学院アドミニストレーション研究科（秋季募集）入試

事務局教務入試課から、資料3-1に基づき、「アドミニストレーション研究科（博士前期課程）秋季募集入試について、9月29日に実施した。募集人員は秋季・春季合わせて20名、4名が志願し、受験。志願者の内訳は、一般選抜が志願者1名、社会人特別選抜が3名。アドミニストレーション研究科（博士後期課程）秋季募集について、9月29日に実施した。募集人員は秋季・春季合わせて4名、1名が志願し、受験。志願者の内訳は、社会人特別選抜。」との説明があり、続けて、明石アドミニストレーション研究科長から、資料3-2に基づき、「博士前期課程の一般選抜受験の1名については、基準の6割を超えていたので合格としたい。博士前期課程の社会人特別選抜については、受験者3名のうち基準の6割を超えている2名を合格としたい。博士後期課程の社会人特別選抜については、受験した1名について、総得点は基準の6割を超えているものの、4割に達していない科目があり、合格基準に照らした結果、不合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 教員採用に係る枠取りについて

1) 看護学

事務局総務課から、資料4に基づき、「総合管理学部における看護学を専門分野とする教授または准教授1名の枠取りである。枠取りの理由は、定年退職する教員の補充であり、平成25年4月1日の採用を予定している。」との説明があり、続いて、松尾総合管理学部長から、「現職教員の退職後、間を開けずに採用をお願いしたい。また、臨床看護経験5年以上を有し、さらに管理職経験があることが望ましく、大学院博士前期課程で研究指導ができる方を条件とし、教授または准教授としての採用を希望する。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 教員の採用について

1) 日本古代文学

事務局総務課長から、資料5-1に基づき、文学部の教員採用について、これまでの審査の経緯等について説明があった。続いて、山田文学部長から、資料5-2に基づき、「日本古代文学採用人事について、公募に対して18名の応募があった。うち書類不備、審査資格がないものを除いた13名について、文学部内で選考手続きを進め、候補者を選定した。平成25年4月1日付けで准教授として、採用していただきたい。」との説明があった。続いて、全学資格審査委員会議長である半藤委員より、「日本古代文学の採用予定者は、准教授での採用が適当であると全学資格審査委員会において判定した。」との報告があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

① 公立大学法人熊本県立大学業務実績評価について

事務局企画調整室から、資料6に基づき、「熊本県公立大学法人評価委員会から、平成23年度公立大学法人熊本県立大学業務実績評価書及び第1期中期目標期間公立大学法人熊本県立大学業務実績評価書について、通知があり、全体として良好と評価されている。」との報告があった。

② 平成24年度「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」の選定結果について

事務局学生支援課から、資料7に基づき、「文部科学省が公募した『産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業』に対し、本学を含む九州・沖縄地区の23大学でグループを形成し、【地域力を生む自律的職業人育成プロジェクト】を申請し、採択された。」との報告があった。

③ 平成24年度「大学間連携共同教育推進事業」の選定結果について

古賀議長から、資料8に基づき、「文部科学省が公募した『大学間連携共同教育推進事業』に対し、本学を含む熊本の4大学でグループを形成し、【減災型地域社会のリーダー養成プログラム】を申請し、採択された。」との報告があった。

④ 熊本県立大学創立65周年記念国際シンポジウムの実施について

事務局学生支援課から、資料9に基づき、「熊本県立大学創立65周年を記念し、東アジア地域の発展に積極的に貢献する国際感覚に優れたグローバル人材の育成に関する国際シンポジウムを、平成24年11月17日に本学にて開催する。」との報告があった。

⑤ 非常勤講師の採用について

事務局教務入試課から、資料 10 に基づき、「採用が決定していた非常勤講師からの急な辞任申し出により、新たに講師を採用する必要が生じ、10月10日付けで採用した。」との報告があった。

4 その他

次回日程 第8回 平成24年11月12日(月)午後1時～ 本部棟2階大会議室

5 閉会